

第3回教区セミナー アンケート

1. 「臨床僧の会サーラ」について感想をお書き下さい。

- 臨床僧の会サーラについては今回初めて知った。課題にもあったが、病院と僧侶の関係の難しさもある中でこのような会があることは驚いた。
- 8名にとどまっていることが疑問？ 活動しやすい方法論を示してほしい。
- なかなか自分の時間をさばいてまでは出来ることではないので感心すると共に自分たちも少しでも参加しようとする気持ちを持つことが大切であると思った。
- 協力しあえる関係を作ることが大事
- お恥ずかしいながら、初めてお聞きしました。大変難しく、私には到底なしえません。
- 手探りしながら一步一步活動しておられることに感銘を受けました。傾聴は上から目線のものいいに気を付けなければならないが、人の人生にふれることの重みを受け止める覚悟が必要なのだと思いました。
- 傾聴ということは、ただ話を聞くだけでなく、はなしを聞いて相手をスッキリさせることと知ることができました。
- 住職として法務をつとめていかなければならない中で「臨床僧の会サーラ」と両立できるか不安です。法務を優先することになり、会への活動が十分行えないと思います。会の存在は大切なことだということはわかりますが、現実と照合すると積極的な参加は難しいと思います。
- 生老病死の伴走者としての活動、言うは易く、行うは難しさだと思います。忙しいから（法務で）と言い訳をすることなく、僧侶の本文である人の終末にかかわる社会活動をしていくことは、期待されなくなった寺院の僧侶としての可能性を広げていく（元に戻していく）可能性のあるすばらしいことであると感じました。
- 仏通寺の老師がお経では人は治せないといわれた。北海道の開業医が最新の医療でも人をすくうことができないといい。白衣を脱ぎ作務着を着て患者の話を聴き、自分で書いた禅語をクスリとして渡している。丁寧な法事や葬儀を行なえば、その中で臨床僧の役目がなされるのでは？
- 病院で活動することは難しいことだとあらためて思いました。ただ病院だけが活動の場ではないと思うので、新しい道を見つけることができるといいですね。
- 以前から新聞等で知っていた。

第3回教区セミナー アンケート

1. 「臨床僧の会サーラ」について感想をお書き下さい。

- すばらしい活動だと思います。お手伝いできることがありましたら、ぜひ手伝いさせてください。
- 難しい話よりも檀家さんの話に耳を傾けるのがサーラの基本姿勢という冒頭のお話に、自分が少し救われた気がしました。あ、基本は今まで通りでいいんだと思いました。
- 実際にお越し頂き、具体的にお話しがうかがえたので状況がよくわかり、自分のことに引き付けて考えることができた。
- 自らの時間を割く事が大事であると思いました。
- 大変すばらしい活動だと思います。私は妻を5年前に亡くしました。病気になって3年程、入退院を繰り返してましたから、その経験から色々なことを感じています。このような活動は必要だと思います。
- 僧侶の今後のあり方があるのかと思いました。法輪寺様が臨床僧の会サーラをされている会の存在を知りませんでしたので、いい勉強になりました。
- 「サーラに入りたい！」というひとにはいい話だと思う。
- 積極的に取り組みされていることが本当にすばらしいと思いますが中々むつかしいです。
- ますますのご活躍を願ってます。
- どうしても自分の時間を出さないことばかり考える今に反省です。興味大です。
- 活動を受け入れてもらうまでのご苦勞がよくわかりました。

第3回教区セミナー アンケート

2. 「臨床僧の活動」について感想をお書き下さい。

- 上から目線になりがちな僧侶の立場を捨てつつ僧侶だからこそできるというのは、すばらしいと思った。
- 自身は難しい。できたら良いとは思うが。
- なかなか自分の時間をさばいてまでは出来ることではないので感心すると共に自分たちも少しでも参加しようとする気持ちを持つことが大切であると思った。また実際に行動するとさまざまな問題が生じ、その度に悩み解決しなければならない大変な活動だ。本当に悩んでいる方々に向き合うため。
- 傾聴→受容→共感→促進 テクニックを磨く。手持ちカードを増やす。
- 对本老大師の活動については、少しは知っております。その為に医師になられたと聞いております。傾聴活動、相手に耳を傾ける。難しい。
- 僧侶として社会にどうかかわるかという基本から出発して、言わばごくあたりまえのところを大切に活動であることが理解できました。佐野師の誠実なお話しの感動を覚えました。
- ただ話を聞くということは難しいと思います。いかに目線を合わせて、しんみになっていけるか。定着させることはイメージが先行し、僧侶＝死となり、病院に入ることの難しさがあると思います。
- 話を聞くことの難しさではないでしょうか。きくということは大切なことだと思いますが、自分の経験上、それでどういうことにつながっていくのか、よくわかりません。実際に愛知西教区で活動していくということになれば協力させていただきます。
- 今尊敬されなくなった、あてにもされなくなった僧侶の本分を思い出させてくれるものだと思います。本来僧侶は枕経も臨終に立ち合いながらお経を読むものだったはず、そしてそこには臨床的な活動もおのずと発生していたはずである。臨床僧の活動はすばらしいことであり、もしかすると僧侶としては当たり前やらなければならないのかもしれないと思います。
- 頭の下がる想いです。
- 私達も簡単に病院に見舞いにいけないのが現状の中、よく実践されていると思う。心の安寧を願う処に臨床僧の重要な至命があるのだな。行動すれば社会は変わる。
- この地域にもできると思いました。
- 「臨床の時に立ち会えるようになれば」といわれ、確かにそんな機会は無いなあ、イメージすれば確かに一つの理想像かもしれないと思いました。

第3回教区セミナー アンケート

2. 「臨床僧の活動」について感想をお書き下さい。

- お葬式をするように皆が将来するようになるとすごい。
- 継続性が大切だと実感しました。傾聴の勉強が必要。
- 活動の大変な様子が今日のセミナーで良くわかりました。僧侶が世の中にあてにされるように、このような活動が必要だと思います。
- 大変すばらしい活動だと思います。
- 「臨床僧になりたい！」という人にはいい話だと思う。
- 僧侶としての地道な活動が認められ必要とされることは素晴らしいと思います。中々自分から率先してできないのが現実ですし難しいです。
- 対本老師様を応援します。
- 専門的な活動は無理としても、日頃からの関係を大切にすることから始めようかと。
- どこでもいわれますがよりそう姿勢がよかった。

第3回教区セミナー アンケート

3. 「僧侶の社会活動」に対して、各自の可能性をお書き下さい。

- 檀信徒以外との交流。まず様々な立場からの目線で物事を見る。
- 皆は集まらないと活動できないのではなく、身近な活動に一人で参加してみるといいのですが！
- 色々あるがまず行動に移すことが大切である。本当に小さなことからあると思う。例えば、寺のまわりのゴミひろい、市内のそうじ等々、日頃の心がけ。なにもなくても始められる、だから行動が大切。
- 大いに努力が必要。積極的に参加しないといけない。
- とある会を通じて、年五囲街植拓鉢を有志しています。その浄財は全て寄進しています。この程度しかできません。今67才ですが、可能な限り、自身の体力とも目指して社会活動していきたいと思えます。
- そういう意識を持ち、僧侶としての自然な縁を大切にしていれば独自性のある意味のある活動ができると思う。収入にはつながらないかもしれないが、だからこそ意味があると思えます。
- お寺を広く開放して、地域のコミュニティー的役割を以前のように担うことが、最も寺院が持つ社会貢献で大事なことだと思います。
- 社会活動は、これから宗間の発展に必ず必要なことです。積極的に取り組まなければいけないとおもいます。
- 数年後には少しは可能になると思えます。
- ボランティアとか色々参加しておりますが、まず参加することが重要だと考えています。すると社会活動をしている人達と知り合い、自分の可能性が広がるのではないのでしょうか。
- 一人一人の現成公案、自分が社会に対して出来ることを念頭においての活動の積み重ねだと思います。佐野師の仰る東り、少しずつ自分の時間を割いていくことで、その可能性は広がっていくと感じます。
- 悩み相談がやりたい。(夫婦で)
- 僧侶としての立場が一番大切だが、保護司、民生委員、PTA、消防団などの地域貢献の中で役割を務め地域に溶け込んでいくのが必要だと思います。
- 一番は地域活動だと思います。私は長年に渡り、町内会長、PTA会長、こども会会長、少年補導員などの活動をしています。また地域の運動会や盆踊りの企画運営などもしており、寺も餅つき大会、林間学校、子供の夜回りなど開放しています。
- 臨床僧に限らず、社会貢献ができる活動を広げることにより、僧侶の寺院運営つながるのではないのでしょうか。
- 今までもいっぱいやってると思えます。

第3回教区セミナー アンケート

3. 「僧侶の社会活動」に対して、各自の可能性をお書き下さい。

- 何らかのまずできる活動から始められれば良いと思います。(ボランティア活動) 僧侶として社会参加ができる活動真剣に考える必要を感じました。
- 話を聞くこと位しかできません。同じ目線が大切かと思います。
- 相手あってのことです。多くを望まず「念ずれば花開く」の精神で！

第3回教区セミナー アンケート

4. 今後の教区寺院セミナーでどのような内容を希望されますか。ご意見をお聞かせください。

- 今回のような今後の寺院のありかた。法要、葬儀などの実践的な勉強会。
- 寺報の造り方。
- 毎回色々なテーマで勉強させてもらっています。
- 介護施設の方の本音を聞きたい。内情を聞きたい。傾聴講座を開催したらどうか？今日のセミナーよりもっと具体的に。
- 京大のカール・ベッカー先生の講座。
- 何がとか特にありませんが、今回のように興味を持てるような普段あまり聞けないお話を聞けたらと思います。
- 久しぶりに伺いました。同じテーマを共有し考える機会は大切ですので、内容に関わらず開催していただきたいと思います。
- 外国の方から見た日本は？仏教は？キリスト教やイスラム教の活。
- 他宗派との交流。他宗教との交流。
- 寺院運営などヒントになるセミナーを開いてください。
- 他業種の方のお話も聞いてみたいです。終活（在家目線）や生前整理等。
- 今回の実用的な講座も良いと思いますが、教養的なものも（哲学歴史、宗教学）セミナーでやって頂きたいです。